



## 棚田を活用した、地域活性化の取り組み

井仁の棚田のファンを増やす

いにぴちゅ会 小笠原 晋

## いにぴちゅ会とは

- ◆ 井仁自治会の下部組織として地域活性化に取り組む自主活動組織
- ◆ 「井仁の棚田」が、インカ帝国の遺跡「マチュ・ピチュ」のように、霧の中に広がる秘郷にみえることから「いにぴちゅ会」と名づけました。



## 井仁地区（井仁の棚田）の位置

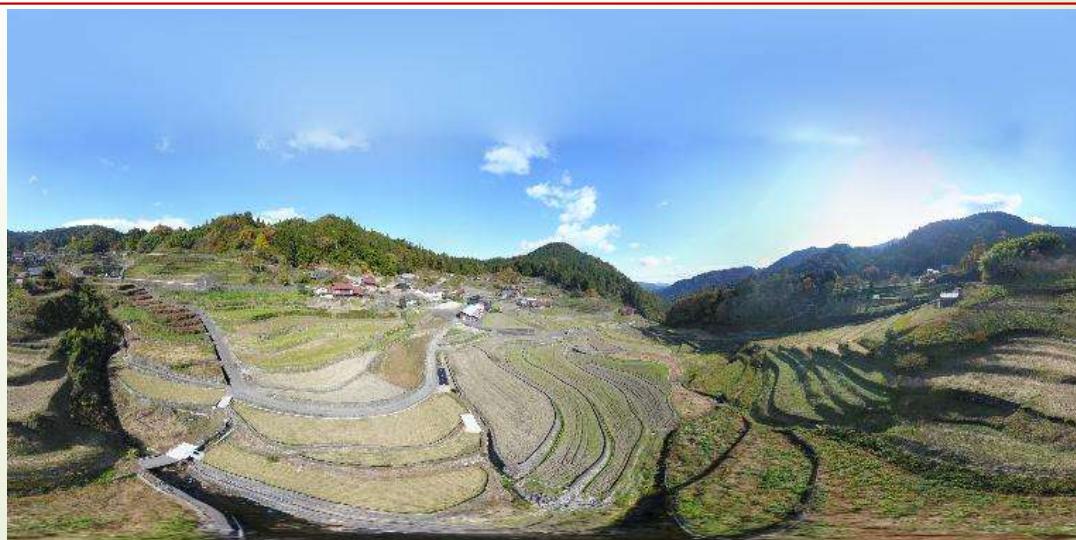


井仁棚田は、広島県山県郡安芸太田町にあり、広島市から北西に約60kmに位置しています。

## 井仁の棚田の概要

- ▶ 井仁棚田は、平成11年に広島県内で唯一、農林水産省の「日本の棚田百選」に選ばれる。
- ▶ 井仁の源流水を広島国際大学に分析していただいたところ、世界遺産である屋久島縄文水や白神山地湧水にほぼ匹敵する水質の名水であるということが分かった。
- ▶ 水田 面積7.9ha 324枚 今年度は75枚耕作している。
- ▶ 水田耕作農家 地域内8戸 転出2戸 地域外3グループ

- ▶ 戸数 16戸
- ▶ 人口 40人



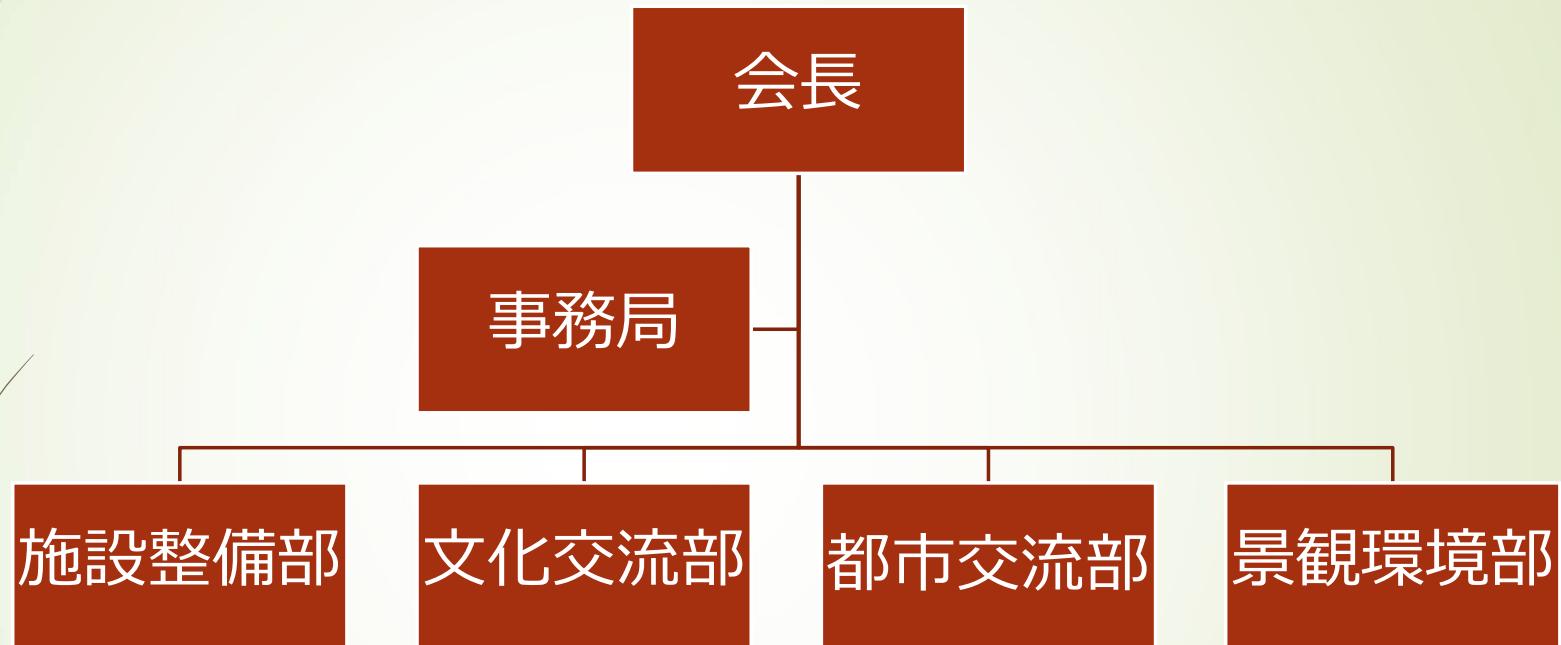


## 地域資源の活用の動きから「いにぴちゅ会」の立ち上げまで

- ▶ 「桃源の里井仁」づくり基本構想の策定（平成9年11月筒賀村）  
棚田まつり（現在の棚田体験会）の契機に
- ▶ 棚田地域等緊急保全対策事業の実施 平成10年からH12年
- ▶ 棚田まつりの実施 平成11年から
- ▶ 平成11年7月26日に、「日本の棚田百選」に認定される。
- ▶ 大学企業との連携 平成22年～
- ▶ 地域振興のマスタープランの作成 平成23年、24年
- ▶ いにぴちゅ会の発足 平成25年
- ▶ 過疎集落等自立再生緊急対策事業補助金の活用
- ▶ 地域おこし協力隊員の招き入れ



## いにぴちゅ会の組織



※ いにぴちゅ会への参加は強制しない  
(自分の判断で積極的に参加してもらう)



## いにぴちゅ会の事業

- ▶ 旧井仁小学校施設（現棚田交流館）の有効活用
- ▶ 物的・人的地域資源の発掘、有効活用による地域の経済効果の高揚
- ▶ 地域内外の企業、大学などの各種団体との積極的な交流活動
- ▶ 遊休農地の利活用による景観保全と都市住民との交流活動
- ▶ 地域住民の世代間交流

初年度は過疎集落等自立再生緊急対策事業補助金を使って取り組む

## いにぴちゅ会初年度の会計（25年度）

- ▶ 収入（補助金等 576万円）
    - ・自治会 50万円
    - ・過疎集落等自立再生緊急対策事業補助金 500万円
    - ・事業支援の交付金 5万円（しわいマラソン）
    - ・事業収入 21.3万円（棚田体験会、他）
  - ▶ 支出（559万円）
    - ・事業費 165万円  
(ホンモロコ、パンフレット、Tシャツ、体験会、講演会他)
    - ・備品購入費 283万円  
(農機具、スリッパ、イス机、テント、ござシート、冷蔵庫、食器棚他)
    - ・修繕費 111万円 (水路補修)
- ※ 収支差額 17万円（繰越金）

## 井仁の棚田のファンを増やす活動

### ▶ 1 都市住民との交流

#### ①棚田体験会

第10回目までは「棚田まつり」とし井仁地域の住民を中心  
に参加者を招待する形で実施

11年目から体験会とし、参加  
者全員で何事もやる方法に変更  
し会費制とする (大人1500円  
子供800円)

取り組みの主体を自治会から移す



# 井仁の棚田のファンを増やす活動

## ▶ 1 都市住民との交流

令和6年度

春 田植え体験会

参加者 一般88人 広大関係22人 地域30人 合計140人

秋 稲刈り

参加者 一般85人 広大関係26人 地域24人 合計135人



# 井仁の棚田のファンを増やす活動

## ▶ 1 都市住民との交流

## ② フォトコンテスト

平成13年には棚田写真コンテストと実施した。

初年度 応募作品 40 作品



現在はイニミ  
ニマニモ主催で  
実施している

- ▶ (賞品の棚田米をぴちゅ会で提供している)

## 井仁の棚田のファンを増やす活動

- ▶ 1 都市住民との交流
  - ③ 棚田カフェ（イニ・ミニ・マニモ）開設支援  
(平成29年9月開設)



## 井仁の棚田のファンを増やす活動

### ▶ 1 都市住民との交流

- ④ 古民家宿（いにくる）の開設支援  
(令和7年5月開設)



- ⑤ 広島市安佐北区可部町の住民との交流（昨年度より）

可部より 棚田体験会に参加

井仁より 「可部夢街道まつり」に参加

## 井仁の棚田のファンを増やす活動

### ➡ 2 棚田オーナー制度

- ・ 平成24年にモニター募集
  - ・ 平成25年 4組
  - ・ 平成27年から 8組
  - ・ 平成29年から 6組
  - ・ 令和元年から 7組
- 費用 1 a 当たり 1万5千円 (昨年まで)

### □ 貸出機械等

耕運機 田植え機 バインダー ハーベスター ハゼ馬



## 井仁の棚田のファンを増やす活動

### ▶ 3 大学との連携

① 広島国際学園大学 平成26年度～28年度

地域貢献活動 源流域清掃

② 広島大学 平成27年度～

サテライトキャンバスとして田植えの実施

インターンシップの受け入れ

棚田体験会のサポート

サロンの企画

③ 安田女子大学 平成28年

困りごと解決プログラム

④ 広島県公立大学法人 叡啓大学 との連携を計画

## 井仁の棚田のファンを増やす活動

### 4 企業等との連携

- ①無印良品 令和元年～  
荒起こし・代掻き・田植え  
・草取り・稻刈り・脱穀  
・しめ縄づくり



- ②マツダ財団主催「若ツナフェスタin井仁」受け入れ  
山口県3団体 広島県2団体 計50名 令和 年

- ③オサカナ農園自然学校 今年度から  
田植え、稻刈り体験 竹あかりづくり

## 井仁の棚田のファンを増やす活動

### ■ 5 子どもたちとの連携

- ① 森の探検隊 平成26年～  
四季に合わせて年四回受け入れ
- ② 育ちの森保育園（広島市）  
令和6年～
- ③ 町内保育所 年2回
- ④ 筒賀小学校  
総合的な学習の時間の探求の場  
として
- ⑤ 加計高校稻刈り体験  
令和3年から



# 井仁の棚田のファンを増やす活動

▶ 耕作放棄地の景観作物栽培

ヒマワリ



コスモス



アカソバ





## いにぴちゅ会のこれから

井仁の棚田「桃源郷の里」として  
自然を愛する、農業の原風景  
井仁に来れば心が安らぐ  
人間として生き返れる場所として  
子どもたちが大きく成長する場所として  
棚田を受け入れる人々全員で楽しく過ごせればよい

井仁のファン

井仁の応援団

井仁の担い手